特別児童扶養手当の所得状況届について

次の手当を受給している方は「所得状況届」を提出してくださいますようお願いします。

◆特別児童扶養手当　◆特別障害者手当
◆障害児福祉手当　◆福祉手当

※手当受給者は、毎年８月12日から９月11日までに、その前年の所得等についての届け出をすることになっています。届け出がない場合、手当を受給できなくなりますのでご注意ください。詳細は送付される通知をご覧ください。

◎受付日時・場所を下記のとおり設定しました。担当者が各庁舎の窓口で受け付けますので、ご利用ください。

期　日	時　間	会　場
８月17日㈭	9:00～12:00 13:00～17:00	仁賀保庁舎 福祉事務所
18日㈮	9:00～12:00	金浦市民SC（サービスセンター）
	13:30～16:30	象潟市民SC

問合先　福祉課☎32－3041

児童扶養手当現況届の提出について

児童扶養手当は「ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進するため」に支給されます。手当の認定を受けた方（所得制限により支給停止となっている方も含みます）は、現況届の提出が必要になりますので、８月中に提出してください。

期　日	時　間	会　場
８月１日㈫～２日㈬	9:00～12:00 13:00～16:30	仁賀保庁舎大ホール
３日㈭～４日㈮	9:00～12:00 13:00～16:30	象潟構造改善センター２階研修室
５日㈯	9:00～12:00 13:00～15:00	スマイル集会室
７日㈪	9:00～12:00 13:00～16:30	金浦保健センター研修室

※都合のよい会場・時間帯をご利用ください。上記日程以外は子育て長寿支援課にて随時（平日のみ）受け付けしています。

児童扶養手当の一部支給停止措置について

児童扶養手当受給開始後５年経過すると手当の一部が支給されなくなります。届け出をすることでこれまでどおり受給できます。対象者には通知していますので、現況届とともに提出してください。

問合先　子育て長寿支援課☎32－3040

鳥海山・飛島ジオパーク推進事業「環境保全フォーラム2017 in 遊佐」

鳥海山・飛島ジオパークは2016年９月に日本ジオパークに認定されました。ジオパークは地球科学的な価値をもつ遺産を保全し、教育やツーリズムに活用しながら持続可能な地域社会をつくるプログラムです。このフォーラムは、鳥海山の湧水をテーマにし、ジオパークとしての保全の意識の共有化を図りながら、さらなるジオパーク活動の浸透を目的に開催します。入場料無料ですので、お気軽にご参加ください。

日時　８月６日㈰　13:30～16:10
場所　鳥海温泉「遊楽里」１階鳥海文化ホール

講演：「身近な地球を知っていますか？」
講師：俳優　中本　賢氏
講演：「鳥海山の水環境と水文化」
講師：秋田大学　教授　林　武司氏
パネルディスカッション
：「みんなで守ろう、鳥海山の水資源」
パネリスト：◆中本　賢氏（俳優）
◆林　武司氏（秋田大学教授）
◆鈴木　康之氏（鳥海山“おもしろ自然”塾推進協議会会長）
◆岸本　誠司氏（鳥海山・ジオパーク推進協議会主任研究員）

問合先　鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会事務局☎62－9777

市営住宅入居者募集　◎募集住宅…全25戸

・市営住宅松ヶ丘（象潟：鉄筋３階）　２戸
　Ｈ　５年築…２ＬＤＫ　３階１戸
　Ｈ14年築…２ＬＤＫ　１階１戸
・市営住宅建石（象潟：鉄筋３階）　17戸
　Ｓ53年築…２ＬＤＫ　１階１戸
　２階２戸
　３階３戸
　Ｓ55年築…２ＬＤＫ　１階１戸
　２階１戸
　３階１戸
　Ｓ56年築…２ＬＤＫ　２階１戸
　３階４戸
　Ｓ57年築…２ＬＤＫ　３階２戸
　Ｓ59年築…２ＬＤＫ　３階１戸
・特定住宅下山（象潟：木造平屋）　４戸
　Ｈ　８年築…３ＬＤＫ　１戸
　Ｈ　９年築…３ＬＤＫ　３戸
・市営住宅さくら（仁賀保：鉄筋３階）　１戸
　Ｓ63年築…２ＬＤＫ　３階１戸
・市営住宅ひまわり（仁賀保：鉄筋２階）１戸
　Ｈ　２年築…２ＬＤＫ　２階１戸

◎申込期間　７月31日㈪まで
◎家賃　14,000円～55,000円
（世帯内の収入・人数によって変動）
◎敷金　決定した家賃の３カ月分
◎入居の資格
・現に住宅に困窮していること
・月の収入が基準以内であること
・同居しているか、同居予定の親族があること
・暴力団員ではないこと
※書類審査後、困窮の度合いが同等の場合、抽選により決定します。
※建石（60歳以上）は、単身入居が可能です。

申込・問合先
・金浦庁舎／建設課管理班　☎38－4307
・仁賀保・象潟市民サービスセンター
※申請書に必要書類（申請者・同居人の所得・納税証明書、世帯の住民票謄本）を添付して提出。

ナラティブブック秋田　平成29年度　第１回　患者・家族向け説明会

個人を中心とした医療・介護ICT連携システムの活用 ナラティブブック秋田のもつ「ちから」

■日時　７月22日㈯　午後２時～　■会場　にかほ市総合福祉交流センター スマイル

主催：由利本荘医師会　後援：にかほ市

基調講演　▶14:10～14:50
地域を多職種でつなぐ
～語り継ぐいのちとものがたり～
由利本荘医師会副会長　伊藤　伸一　氏

事業説明　▶15:00～15:20
ナラティブブック秋田事業説明
由利本荘医師会ナラティブブック秋田運営委員会　医院　圓谷　智夫　氏

地域医療介護連携　▶15:20～16:00
ICTツール「ナラティブブック」
クロスケアフィールド㈱　岡﨑　光洋　氏

ナラティブブック秋田とは
患者さんが自分の情報を管理し、信頼できる地域の医療・介護・福祉関係者が持っている情報を集約して情報を共有するコミュニケーションのための仕組みです。

問合先　由利本荘医師会事務局☎22－4085／にかほ市地域包括支援センター☎32－3045